

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 完成も見通せない工事は究極の無駄だ！



写真上は海上で抗議するカヌーチーム。右写真は、「不承認」となっても新たに造成されたN2護岸上で赤土を運ぶため列をつくるダンパーカー。

辺野古新基地建設で沖縄防衛局が辺野古の海に土砂の投入を開始して3年目となった14日、辺野古の海上とキャンブ・シュワブゲート前に市民が集まり、あらためて抗議の意思を示しました。海上にはカヌー31艇と抗議船3隻に約60人が、ゲート前には220人の県民が集まりました。デニー知事が設計変更申請を不承認とした後も土砂投入を続ける防衛局に、満身の怒りを込めて「違法工事は中止せよ！」「美ら海を守ろう！」などシュプレヒコールを繰り返しました。

海上でヘリ基地反対協の豊島晃司共同代表が「新基地は違法工事だ。国民世論を広げ、諦めずにたたかいていこう」と呼びかけました。ゲート前では稲嶺進前名護市長が「完成も見通せない工事は究極の無駄だ」と強調、名護市長選で「オール沖縄」の岸本洋平予定候補への支援を訴えました。

## 土砂投入3年目 海と陸から抗議行動

### 「沖縄の低い経済力は基地が原因。基地撤去で自立を」 前泊教授

ヘリ基地反対協は15日、沖縄国際大学の前泊博盛教授を招き名護市内で講演会を開催、90人余の市民が参加しました。

前泊教授は「沖縄は低所得、低賃金、低貯蓄、低進学率、高い離婚率でコロナ感染拡大も高い。基地があるが故だ。基地を撤去して自立、自力経済をつけた方がよい。沖縄振興策の多くが本土企業にお金が還流する仕組みになっているザル経済だ。基地を返還させて、子や孫たちのためにも沖縄の未来を守ろう。キャンブ・シュワブを返せと主張し、基地の跡地利用を考えよう」とスライドや図表を駆使し、分かりやすく訴えました。

参加者は時に笑いが沸き上がり、うなずいて聞き入るなど熱心に聴講。質問も多く出されました。



会場いっぱい市民が駆け付けた講演会。右は前泊教授



### 豊原で岸本氏先頭にスタンディング

名護市豊原の久辺郵便局前で16日、岸本ようへい名護市長予定候補を先頭にスタンディングを行いました。辺野古住民など10人が参加しました。岸本市政で新基地建設ストップを！などの要求パネルを掲げて通行人やドライバーに訴えました。

近所に住む男性が家から出て来て「新基地建設を止めたい。岸本さんにがんばってほしい」と岸本氏とグータッチを交わしました。(写真の左端が岸本氏)

訂正

当ニュース前号で「岸本選対組織・連絡協議会」の記事中、冒頭の「オール沖縄会議」は、「オール沖縄陣営」の間違ひでした。また名護市民の学習会の記事で、沖縄人権協会理事長は太田麻章氏ではなく朝章氏でした。お詫びして訂正します。

### デニー知事が就任3周年「県政報告会」



玉城デニー知事は16日、就任3周年を記念した「県政報告会」を那覇市内で開催しました。デニー知事は辺野古新基地建設の阻止や、日米地位協定の抜本改定に取り組むことを改めて示し、この間の県庁内の機構改革やSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み、来年の慰霊の日の「平和宣言」について県民からのメッセージを公募して作成することなどを報告しました。報告会には、首長や国会議員、地方議員など県民350人が参加。岸本洋平名護市長と瑞慶覧朝敏南城市長が紹介されました。写真=与党県議と頑張ろう三唱するデニー知事(中央)